

人口減少下の公共政策

きし あき お

経営情報学科

岸 昭雄

●連絡先

TEL：054-264-5445 FAX：054-264-5445

キーワード

人口減少社会，公共政策



「人口減少社会」という待ったなしの状況で、公共部門はどういった役割を果たすべきか？

今までの公共政策は、人口増加・経済成長を想定したいわゆる右肩上がりの社会を想定した上で計画、実行されてきた。しかしながら、そこで得られた様々な示唆(公共政策の効果、効率的な施行方法など)は、今後日本が直面する人口減少社会には当てはまらない。右肩下がり社会における公共政策のあり方を議論する必要がある。

近年、地方農村部の過疎化・高齢化による限界集落の問題がマスコミで取り上げられるようになってきた。これはまさしく人口減少社会が今後直面する問題であり、地方のコミュニティを維持するにはどうするか、そもそも維持すべきなのか、また限界集落における公共投資の効率性に関する問題をどうとらえるか、などといった深刻な問題を内包している。